

平成18年度 決算報告書

国立大学法人 埼玉大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,931	6,931	0	
施設整備費補助金	686	687	1	(注1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	11	21	10	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	37	37	0	
自己収入	5,186	5,142	△ 44	
授業料、入学料及び検定料収入	5,106	5,044	△ 62	(注3)
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	80	98	18	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	558	678	120	(注5)
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	104	104	
計	13,409	13,600	191	
支出				
業務費	9,823	10,105	282	
教育研究経費	9,823	10,105	282	(注6)
診療経費	0	0	0	
一般管理費	2,294	2,026	△ 268	(注7)
施設整備費	723	724	1	(注8)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	11	21	10	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	558	627	69	(注10)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	0	0	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	13,409	13,503	94	
収入-支出	0	97	97	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、平成18年度補正予算により1百万円の収入増により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、新たに大学改革推進等補助金が採択されたことにより、予算額に比して決算額が10百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者の減等により、予算額に比して決算額が62百万円少額となっています。
- (注4) 雑収入については、主として証明書発行手数料収入、入試センター試験実施経費収入の受入増により、予算額に比して決算額が18百万円多額となっています。
- (注5) 民間機関等からの受託研究等及び科学研究費補助金間接経費の受入増があったため、予算額に比して決算額が120百万円多額となっています。
- (注6) 教育研究経費については、予算段階では見積もっていなかった老朽化した施設の整備、教職員採用計画の見直し及び退職給付費用が見込みより多かったことなどにより、予算額に比して決算額が282百万円多額となっています。
- (注7) 一般管理費については、事務の効率化による経費の削減、役職員採用計画の見直し及び退職給付費用が見込みより少なかったことなどにより、予算額に比して決算額が268百万円少額となっています。
- (注8) (注1)に示した平成18年度補正予算による1百万円の収入増により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が10百万円多額となっています。
- (注10) (注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が69百万円多額となっています。

○損益計算書との集計区分の相違について

- (1) 業務費の教育研究経費には、損益計算書の教育経費、研究経費及び教育研究支援経費が含まれ、寄附金、施設整備費、補助金等を財源とする費用は含まれていません。
- (2) 損益計算書の役員人件費は、業務費の一般管理費に含まれ、教員人件費及び職員人件費は、業務費の教育研究経費、一般管理費、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等にそれぞれ含まれています。